

### 【1】実践事例

### 【2】タイトル：学校紹介の手段としての WWW の活用

### 【3】概要

安芸高校では 1996 年より WWW による情報の公開を開始したが、そのことに先立ち、「情報の価値とは何か」という問題についてたびたび検討してきた。情報公開の有効な手段として WWW に大きく注目していたからであるが、幾度にもわたる検討の結果、情報の価値を決定する要素として「的確」「正確」「速度」という三つの要素は常に外すことの出来ないものとして捉えられることとなった。言い換えれば、本校は常にこの三要素に着目し、WWW での情報発信を行ってきたとも言える。もちろんこれらの要素を常に完璧に満たすサービスを行って来ることが出来たとは到底言い難いが、ここではそのような本校の反省事項も含めて、「的確」「正確」「速度」という三要素を柱に、WWW での情報発信について考察する。

【4】キーワード：WWW、ホームページ、情報公開

【5】学校区分：高等学校

【6】学年：

【7】教科：

【8】学校名(URL)：高知県立安芸高等学校 <http://www.edu.net-kochi.gr.jp/home/aki-h/>

【9】授業者名：

【10】授業実施期間(月日, 時間)：

【11】単元・題材名：

【12】単元の目標

【13】メディア活用の意義

情報にとって「的確さ」とは、ターゲットとニーズが過不足なく絞られているということであり、どんな対象に向けてどのような情報を発信するかという問いにきちんと解答が出せているか否かということでもある。

本校の場合は高校入学前の小中学生や保護者等に対して進路決定の参考資料となる情報にターゲットを絞るよう心がけているが、基本的な事柄であるように思えて、この「絞り込み」は困難な作業でもある。絞り込むことによって切り捨てるべき情報も少なからず出て来るが、この見極めに苦労することが少なくない。欲張らないことは難しい。

例えば情報提供の速度に気を奪われてうっかり間違った内容の情報をアナウンスしてしまった場合、残念ながらそこで伝達された情報に何の価値もなくなってしまう。情報を提供する側はたびたびその速度を謳い文句にしたがる場合が多いが、情報において最も重要なのはむしろその「正確さ」にあるだろう。WWW における情報発信についてもこれは同様であると言えるが、WWW を一人で作って一人で確認するにはやはり限界がある。そこで、安芸高校ではできるだけ多くの先生方にご協力をお願いしてページを作成していただいたり、あるいは出来上がったページを意識的に閲覧してもらうよう心がけている。

Since 1999  
Kochi Prefectural AKI SENIOR HIGH SCHOOL  
高知県立  
安芸高等学校  
あき  
Internet WWW Information Service

〒784-8505 高知県安芸市津和野町1-54  
TEL 0877-34-1745 / FAX 0877-35-4452  
E-mail: aki-h@edu.net.kochi.jp

Copyright © 1996-2000  
Kochi Prefectural  
Aki Senior High School  
All rights reserved.

マークのあるページで  
Adobe Acrobat形式の  
データ配布を開始しました

閲覧ブラウザは  
MS Internet Explorer 3.0以上  
または  
Netscape Navigator 3.0以上  
です

RealPlayer G2をインストールして

TOPICS  
●創立100周年記念事業実行委員会ホームページ NEW  
●教育工学全国大会【公開授業】のご案内 NEW

NEWS & SCHOOL DATA  
●新年度情報(2000.10.1更新) UPDATE  
●A.T.V.(Video On Demand)  
●学校案内(中学生の皆さんへ)  
●平成11年度行事予定表  
●学校長より  
●学校沿革  
●校訓及び教育方針と目標  
●設置学科・生徒数・教育課程  
●校歌(Real Audio)  
●教職員紹介  
●施設紹介(修繕中)  
●安芸高校への交通アクセス

ORIGINAL PAGES  
●教科と学科のページ UPDATE  
●前活動のページ NEW  
●生徒作成ページ  
●定評のページ

LINKS & SPECIAL PAGES  
●全文検索・安芸高サーチ  
●安芸高リンク NEW  
●志望キャリアー  
●特設・朝の読書について  
●特設・藩政のパソコンスクール  
●特設ページ・INDEX  
●安芸高校インテリジェント化計画について

FRONT

そのような点検体系を用意しておく、多くの目に触れることによって仮にWWW上の情報に間違いがあった場合でもすぐに発見・訂正が可能となり、正確な情報提供へ一歩でも近づくことが出来る。ただ、こうした点検と連絡のシステムは一朝一夕に確立されるものではないので、作成したホームページのプリントアウトを掲示板に貼ったり、回覧することによって少しずつ興味や関心を持ってもらい実現して行くことになるだろう。

情報における速度の重要性とは、すなわち情報が常に新鮮であるように心がけることである。例えば安芸高校では、大きな行事に限らず、日々学校の中で起こる小さな出来事にも目を向け、つぶさな情報発信を心がけていくことで、一般の方々がふだんは目にする事のない出来事をリアルタイムに伝えていくようにした。

学校でいま何が起きているか、という情報は知られているようで意外と知られていない上に、強く「知りたい」と考えられている事柄でもある。こういった小粒の情報を頻繁にアップデートすることによってリピータをつかみ、リピータの意見や指摘がより良いWWWのアイデアにつながることも少なくない。

WWWに限らずあらゆる情報提供について言えることであるが、価値ある情報は信頼を生み、その発信者に対しても同様の信頼は生まれる。これは逆もまた真なりであり、学校からの情報提供を行う場合も同様、その如何によって学校自体の信頼性が問われるということも忘れてはならないだろう。そういう意味では、情報と信頼性について考察することは、何もWWWによる情報提供に限ったことではない。

【14】メディア環境

【15】単元の指導計画

【16】授業展開

【17】学習活動の実際

【18】授業の成果(生徒の反応、メディア活用の効果等)

【19】ワンポイントアドバイス(今後の課題等)

【20】参考資料・参考URLなど(協力者、協力団体含む)